

What 人生100年時代に向けてどのような出会い・コミュニケーションのシーンを創出すべきか

回答欄： リアルな複数の仲間グループに所属する。

Why なぜ上記のシーンを創出しようと思ったか

1) 現在のライフシーンを取り巻く状況

回答欄： バーチャルですべてが片付くような
雰囲気あり。
兼業禁止事項がある。

2) 人生100年時代に想定される変化

回答欄： ハーフシフトが起きてくる。
価値観が今以上に多様化
なかなかリアルな接し方が難しくなる。

3) 新しいライフシーンはどのような豊かさを私たちの暮らしや社会にもたらすか

回答欄： 様々な仕事、趣味などを並行して行えることが、安定感につながる。幅広い興味に対応できる。
新しい創造につながる。ゼロ百の弊害、何かの情報に一気に流されるのを防ぐ。

How 上記のシーンの創出のために変化をどのように取り入れ、都市・インフラをどのように変えていくか

1) ライフシーンの変化＝シフトの取り入れ方

回答欄： ハーフシフトの実現

2) 着目する都市・インフラ

回答欄： クラブ活動的な仕事
アゴラの整備（五感で感じる。）

*ここで提示いただいた都市・インフラを、「どこで」「だれが」「どのように」実現していくか、そのディテールとプロセスを今後話し合う予定です。

お名前： 望月 信宏

1) 出会いとコミュニケーションの豊かさに関する議論

- 回答欄：
- ・いくつものレイヤーがある。
 - ・やっぱり人と人との出会いが一番豊か。
 - ・共感や商人などの他の存在から感じる豊かさ
 - ・常識と違うことが起きる、体験することができる。

2) 人生100年時代の出会いとコミュニケーションに関する議論

- 回答欄：
- ・ハーフシフトが起きる。
 - ・リアルとバーチャルの出会いの違いをもう少し議論。

3) これからのワークショップで着目する都市・インフラについて

- 回答欄：
- ・いかにハーフシフトを実現できるか。
何か最初とっかかりとして似たような属性の人があつまれるようなクラブみたいな場所
 - ・アゴラ・・・人々をリアルに結びつける場所
言葉だけだとわからない、五感が大事なのかも。